

ヒューマンホールディングス(東京都新宿区)の連結子会社として介護事業と教育事業を手がけていたヒューマンリンク(同)が、7月1日に分社化を行った。介護事業をヒューマンライフケア(同)に継承し、1ヶ月が経過する。また8月1日には70拠点目となる介護サービス事業所を開設させた。代表取締役に就任した庄司孝正社長に事業モデルと今後の展開について話を聞いた。

介護事業参入10年
経験を理念に凝縮
—分社化をして1ヶ月

ヒューマンライフケア
庄司孝正社長

が経つ。分社化によって常に主体意識」という変化したことは、庄司「ヒューマンライフケアを設立するにあたり、理念を新しく設けました。介護事業に参入して10年が経ちますが、その間に学んだ『利用者・家族・スタッフの三者を

順調に数を増やしていく。社は訪問介護からのスタートで拡大します。当月末には全事業所合計を74拠点に拡大します。当

る。庄司「今期だけでデイ

を13ヶ所開設し、来年3

月には全事業所合計を

うござるに注目し、普段

がらのよさを感じながら

大浴場で高齢者が語り合

えるディを作りました。

庄司「改修後も感謝の名

前をそのまま生かし、

庄司「『現在のモデルは、

庄司「『銀湯改修型デイ』

庄司「『銀湯改修型デイ』

庄司「主軸になるのは、

庄司「主軸